



第 8 回



みんなの音楽祭 in とす

見よう！聞こう！楽しもう！



鳥栖市では平成 25 年度より障害への理解を深める取り組みとしてフレスポ鳥栖をはじめ、地域の団体や福祉事務所の協力をいただきながら市民の皆さんに感動と元気をお届けできるようイベントを開催してきました。

コロナ感染拡大を受け中止していた音楽祭を今年は 4 年ぶりに開催することができ、元久光スプリングス所属新鍋理沙さんがサガン鳥栖・久光スプリングスのグッズ抽選会に登場され、ハロウィンも近かったことから(?) ゲゲゲの鬼太郎一同や、とっちゃんも登場！大いに盛り上げてくれました。



会場の物販コーナーでは、『コスモス夢工房』『NPO わかば』『モチノキ』『グリーンファーム山浦』『どんぐり村』の皆さんが椎茸や野菜、お菓子等を販売していただきました。売れ行きは大盛況！ほぼ完売となりました。



田代中学校の吹奏楽の演奏は迫力があり、またコスモス夢工房さんとのコラボは楽しく演奏されていて、会場中が温かい雰囲気になりました。





九州ろうきん「NPO助成」地域研修会① 開催報告

『障害がある方と地域で共に暮らすひとつの方法』

～やまゆり園を出て、ぼくはこのまちで暮らしているよ～

障害のある方との地域共生のために必要なことを皆さんと一緒に考えたい



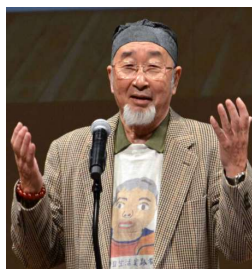
10月23日、神奈川県相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」の家族会前会長の尾野剛志さんご夫妻、息子の尾野一矢さん、一矢さんの支援者である大坪寧樹さんを迎え、重度障害者の地域生活に向けた支援の在り方を地域の皆さんと一緒に考える機会になればと鳥栖市、みやき町、基山町、上峰町及び、鳥栖・三養基地域自立支援協議会の共催で研修会を開催しました。当日は200名を超える沢山のの方に聴講いただき、心より感謝申し上げます。

尾野さんの長男の一矢さんは、2016年の殺傷事件で首や腹などを刺されて重傷を負われましたが、2020年から地域のアパートで一人暮らしを実現されています。尾野さんからは「施設に預ければそれでいいのか。親亡き後も幸せに暮らせるよう、もっと家族や地域で向き合わないといけない」と力強いメッセージをいただきました。

参加いただいた皆さんからも多くの感想をいただき、「障害のある方との地域共生のために必要なこと」をそれぞれの立場で真剣に考えていただいたと思います。これからも障害があろうと無かろうと”生きる価値がない命なんてない”ことを忘れず、共生社会への道のりを探っていきたいと考えます。

第1部：講演会 尾野さん、大坪さんよりメッセージ

私が最も伝えたかったことは、障害を持った人たちのご家族がもう一度本人と家族との幸せを考え直してほしいということです。また、うちの息子のように重度の知的障害を持っている方のご家族ともっと様々な形でお話できればいいなと思っています。鳥栖・三養基地区は福祉に興味を持っている方が多くいらっしゃる印象です。またお会いできることを楽しみにしています。 (尾野さん)



2012年(平成24年)に重度訪問介護の対象が重度知的障害の方にも広がりました。この制度の広がりが進み、重度の障害を持った方であっても地域で暮らすことが出来る社会となることを心より願っております。また、鳥栖・三養基地区は福祉への関心を持っている方が多い印象です。重度訪問介護のサービスを利用する方々が増えていくことを期待しています。

(大坪さん)



第2部：トークセッション 芹田さん、藤田さんよりメッセージ



「尾野一矢さんが住むまちで過ごしたひとときのこと」

地域研修会から遡ることおよそ1ヶ月、私は尾野一矢さんが住む神奈川県のアパートを訪ねた。その日は、近くに住むご両親と支援者の大坪さん、その時間の担当ヘルパーさんと共に迎えいただいた。一矢さんは、正面にテレビが見えるソファに座り、穏やかに過ごされていた。私と私のヘルパーはその空間にお邪魔すると、一矢さんは初対面の私にしばらく視線を向けた後、その存在を受け入れたかのように元の姿勢に戻られた。

それからは、お父様を中心にアパート暮らしのことや最近の活動の様子を聞かせていただいた。その間、一矢さんは好きなテレビを見たり時々トイレに立ったりしながら過ごされていたのだが、時折大きな声を出されることがあった。アパートに暮らし始めた当初、近所迷惑を考えた支援者は大人しくするように声かけをするが、一矢さんはそれでも声を出してしまう状況があったそうだ。しかしこの日、大坪さんは声を出す一矢さんの気が済むまで声を出すよう促した。すると、一矢さんは穏やかな表情になり、大声を出すことを止めたのだ。

一矢さんにとって声を出すことは、問題行動ではなく大切な自己表現である。今は上の階の住人が退居され、無理に声を止める必要がなくなった結果、声を出すことは表現の一つとして受け入れられ、過度な大声を出す頻度は大きく減少した。この日、アパートの一室に似つかわしくない大音量に遭遇した私は、次の大坪さんの対応に衝撃を受け、その後の一矢さんの様子にただ唸るしかなかった。その時間の担当ヘルパーさんも「そんな方法があるんですか！」と驚き、その後数回一矢さんが声を出された時に「もっと、もっと！」と声をかけ、その度に一矢さんはヘルパーさんの顔を何か言いたげに見つめられるのだった。

強度行動障害と呼ばれる行動をしてしまう方々がいる。その方々は困った人と見られることも多い。しかし、行動障害を強いている原因は何なのか、困っているのは誰なのか、一矢さんの日々の暮らしが支援者や地域社会に問いかけているかのようなひとときだった。

(しょうがい生活支援の会すみか 芹田さん)



ご家族の想い、支援者の想いを地域に向けて発信でき、よい研修になったと思います。

今後、重度訪問介護のシステムがどのように利用できるか検討が必要であると考えています。

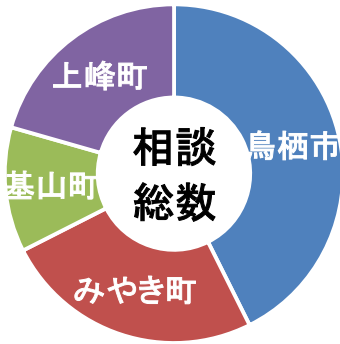
(らいふステージ伴 藤田さん)

参加者アンケートについて

多くのご意見、ご感想ありがとうございました。
詳細はキャッチホームページにて近日中にアップいたします。



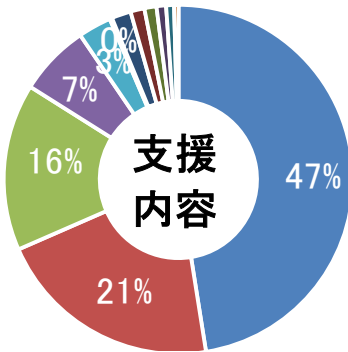
キャッチ 令和5年4月～9月の相談件数



1市3町 相談件数の総数

(件)

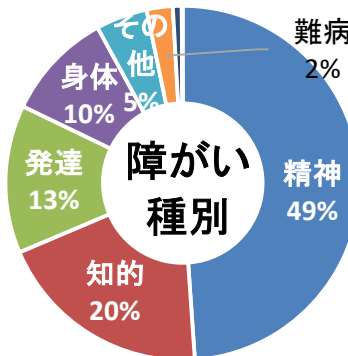
鳥栖市	みやき町	基山町	上峰町	合計
3,058	1,784	854	1,477	7,173



支援内容の内訳

(件)

障がい・病状理解	福祉サービス利用	健康・医療	家族関係・人間関係	家計・経済	その他	就労
3,332	1,473	1,086	463	216	168	125
権利擁護	生活技術	保育・教育・療育	社会参加・余暇活動	不安解消・情緒安定		合計
90	79	63	51	27		7,173



障害種別の内訳

(件)

精神	知的	発達	身体	その他	難病	高次脳機能	重心	合計
3,508	1,413	970	711	336	171	58	6	7,173

ちょっと一息



11月の主な誕生花 ガーベラ

花言葉は「希望、常に前進」



11月の主な誕生花・ガーベラの花言葉は、「希望、常に前進」と、とてもポジティブです。これから新しいことにチャレンジしたい方へのプレゼントや、新たな門出を祝いたいときの花束としておすすめですね。

○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの障害者本人、障害のある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。障害の種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00（月曜日～金曜日） 9:00～17:00（土曜日）

上記の時間帯以外でもご相談をお受け致します。事前にご連絡ください

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

住所: 佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

(代表)電話: 0942-87-8956 FAX: 0942-85-9003

Mail: so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

URL <https://www.tosumiyaki-sodan.or.jp/>

～編集後記～

あっという間に2023年も残り1カ月です。年が明けるとまた年を取る…。あーヤダヤダと負のオーラに包まれるのは私だけでしょうか。こんな時は食べるしかない！あれ？まだ食欲の秋真っ盛りかな？？(苦笑) 酒井